

白藍塾オリジナル

2026年度 入試小論文分析&解答のヒント

2026年3月発行

白藍塾の入試小論文分析は、他の予備校と違って、その問題に対して受験生がどのようにアプローチすればよいのかを具体的に説明している。そのため、この分析を参考にすれば、誰でも合格レベルの答案を書けるはずだ。該当の大学・学部の志望者は、ぜひ、これを読んで、自分で実際に答案を書いてみてほしい。

執筆・大原理志

● 慶応・環境情報学部

今年度の問題は、近年の環境情報の問題の中では比較的オーソドックスなものになっている。5つの資料はどれも「環境」または「情報」をテーマにしている、比較的短く、読みやすい。

問1は、資料A～Eについて、(1)まず各文章のメッセージを簡潔にまとめることと、(2)3つを選んでわかりやすく図示することが求められている。(1)については、どの資料もメッセージ(メインテーマ)は明快なので、そう難しくないだろう。(2)については、複雑に考える必要はない。できるだけ単純化されていて、各項とその関係性がはっきりわかるようなものであれば、それで十分だ。ここで時間をかけすぎると、次の問2に割く時間がなくなってしまうので、注意しよう。

問2の(1)は、自分が特に重要と考えている問題を1つ選んで、それについて分析する問題。昨年度も似たような問題が出題されていたので、準備のできていた受験生も多いだろう。また、昨年度の問題がややこしい条件付きだったのに比べると、今回のほうが答えやすい。これは2部構成のA型で書けるはず。

どんな問題を選ぶかは自由だが、(2)で解決策を論じることが求められているので、自分がよく知っていて、解決策をきちんと論じられる問題でないと困るはずだ。また、「挑戦的かつ具体的な解決策」を示すことが求められているが、「少子高齢化」「環境問題」「エネルギー問題」といった大きすぎる問題だと、解決策もどうしても一般論になったり、抽象的になってしまう。昨年度の問題と同様、「地域の活性化」「不登校児の増加」「防災」などのように、具体的で多少独創的なアイデアも出しやすい問題を選ぶようにしよう。

書き方としては、800字とかなり字数が多いので、4部構成の提言型を応用して書くとよい。もちろん、絵や図を効果的に入れることができれば、そのほうがアピールにつながるはずだが、かえってわかりにくくなる場合もあるので、その点は注意が必要だ。

* 執筆者の許可なく本紙の全部もしくは一部を無断転載、無断複写することを固く禁じます。

発行・白藍塾総合情報室 (03-3369-1179) <https://hakuranjuku.co.jp>